

T.V

## 目 次

口 絵

発刊のことば

発刊によせて

凡 例

編集委員長・三崎町長 杉山 茂丸

三崎町議会議長 濱田 繁則

### 第1編 自然・環境

第1章 三崎町の自然 ..... 3

第1節 位置 面積 往古 ..... 3

第2節 地形および地質, 地層 ..... 4

第3節 鉱物および土壌 ..... 11

第4節 風 景 ..... 13

第5節 気象と海象 ..... 15

第6節 災 害 ..... 22

第2章 生 物 ..... 31

第1節 動 物 ..... 31

第2節 植生概観 ..... 34

### 第2編 歴 史

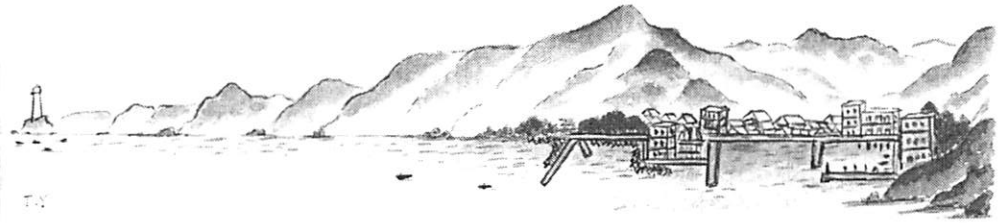
第1章 三崎町の夜明け ..... 55

第1節 地質構造 ..... 55



7.3

第2節	洪積世（日本の人類）	56
第3節	愛媛の旧石器時代人	62
第4節	縄文文化の誕生	67
第5節	愛媛の縄文時代	71
第6節	農耕生活の誕生	82
第7節	統一国家への胎動	88
第8節	大陸文化の輸入	93
第2章	大化の改新から戦国時代まで	100
第1節	宇和郡の成立と矢野郷	100
第2節	条里制	102
第3節	荘園の発達	103
第4節	橘氏と宇和郡	105
第5節	南北朝時代の矢野保	107
第6節	西園寺氏と宇和郡	108
第7節	戦国時代	109
第3章	近世	115
第1節	豊臣秀吉の四国征伐と領主の交替	115
第2節	太閤検地の実施	118
第3節	江戸幕府の成立	119
第4節	宇和島藩の成立と吉田藩分知	120
第5節	藩政時代の郷土の庄屋と組頭	123
第6節	宇和島藩の検地とくじ持制	126
第7節	宇和島藩の税制（貢租）	129



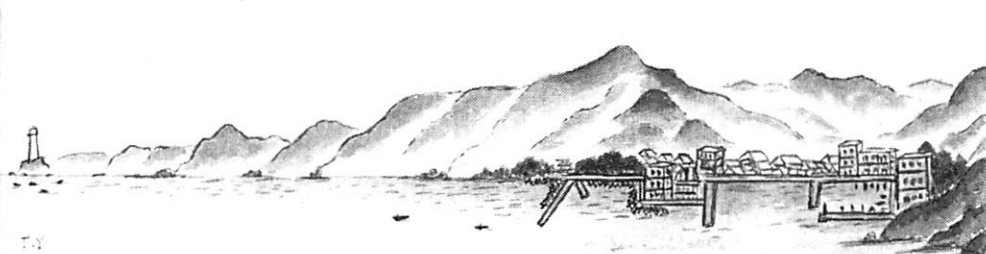
7.4

第8節	享保の大飢饉	132
第9節	参勤交代と三崎の水主	134
第10節	百姓一揆	135
第11節	佐田御番所と御番所役人	137
第12節	幕末・維新の宇和島藩	140
第13節	藩政時代の行政	140
第4章	近代	145
第1節	明治時代	145
第2節	大正時代	154
第3節	昭和時代	155
第3編	行政・財政	
第1章	行政の変遷	163
第1節	明治維新後の移り変わり	163
第2節	市町村制の公布と三崎村・神松名村の成立	173
第3節	三崎村のあゆみ	176
第4節	神松名村のあゆみ	190
第2章	町政	206
第1節	三崎町の発足	206
第2節	行政機構と各種委員会	224
第3節	区と区長	227



T.3

第3章 財 政	229
第1節 町の財政	229
第2節 監査委員	235
第3節 町有財産	237
第4章 厚 生	240
第1節 社会福祉	240
第2節 国民年金	247
第5章 保健衛生	250
第1節 衛 生	250
第2節 医療施設	256
第3節 国民健康保険	258
第4節 環境衛生	260
第5節 水 道	264
第6章 治安と消防	267
第1節 治 安	267
第2節 交通安全運動	272
第3節 消 防	275
第7章 土 木	285
第1節 道路・橋りょう	285
第2節 河川・砂防	291
第3節 港 湾	292

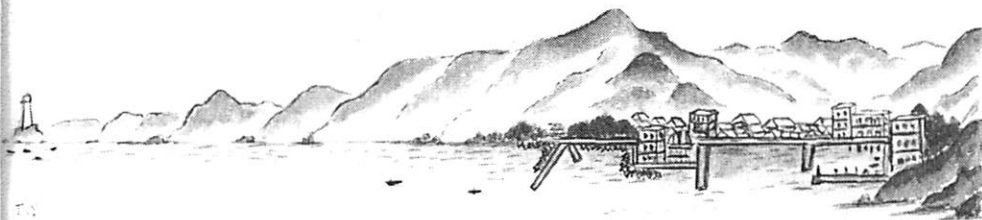


T.4

第4節 漁 港	294
第5節 同和対策事業	298
第6節 国土調査	302
第8章 選 挙	314
第1節 選挙制度の変遷	314
第2節 三崎町の選挙	317
第3節 選挙管理委員会	322
第9章 兵 事	323
第1節 徴兵制の実施	323
第2節 郷土の管轄区	324
第3節 主な対外戦争	325
第4節 豊予要塞と伽藍山監視所	328
第5節 三崎町の戦没者と慰霊碑	331
第4編 産業・経済	
第1章 農 業	349
第1節 産業の概況	349
第2節 土地利用の動向	350
第3節 農地と土地改良	350
第4節 農業経営	360
第5節 農産・畜産の推移	362
第6節 農業団体	387
第7節 農業振興と後継者	392



第2章 水産業	394
第1節 藩政時代の水産業	394
第2節 明治時代の水産業	398
第3節 韓国水域への通漁	400
第4節 明治から大正・昭和にかけての鰯網漁業	402
第5節 現代の水産業	408
第6節 水産業団体	423
第3章 鉱業	427
第1節 町内鉱山の沿革	427
第2節 主要鉱山	428
第3節 鉱業の現状と将来	434
第4節 三崎製錬所構想と煙害	435
第4章 商工業・金融	445
第1節 商業	445
第2節 町内の企業	450
第3節 商工会	451
第4節 金融	456
第5節 観光	458
第5章 交通・運輸	463
第1節 陸上交通	463
第2節 海上交通	466



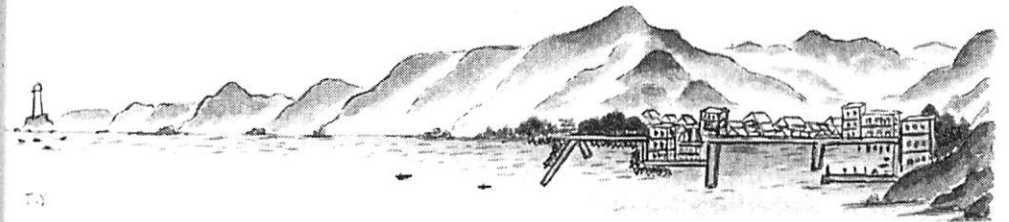
第6章 通信・電気	476
第1節 郵便事業	476
第2節 三崎町の電信・電話	483
第3節 放送と電気	485
第5編 宗教・文化財	
第1章 神社	493
第1節 神社の性格と構成	493
第2節 神社制度の沿革	494
第3節 町内の神社	496
第2章 寺院	511
第1節 寺院の変遷	511
第2節 町内の寺院	512
第3節 諸宗教	518
第3章 文化財	522
第1節 文化財の意味と種類	522
第2節 町内の文化財	523



T.14

## 第6編 教 育

第1章 学校教育	561
第1節 藩政・明治維新前後の教育	561
第2節 学制の実施と変遷	568
第3節 戦時下の教育制度	571
第4節 民主教育の新体制	574
第5節 町内の学校沿革	579
第2章 社会教育	607
第1節 青年団	607
第2節 夜学会と実業補習学校, 青年学校	610
第3節 婦人会	614
第4節 公民館及び地区集会所	617
第5節 三崎町文化協会	622
第6節 同和教育	623
第7節 社会体育	626
第3章 教育委員会	628
第1節 教育行政のあゆみ	628
第2節 教育委員	629



T.15

## 第7編 民 俗

第1章 三崎町の風俗	635
第1節 衣食住	635
第2章 年中行事	644
第1節 年中行事	644
第2節 人生儀礼	652
第3章 民話と民謡	661
第1節 郷土の民話	661
第2節 三崎の民謡と子守歌	676
第4章 ことわざと方言	695
第1節 ことわざ	695
第2節 方言	701
第5章 地名の由来	711
第1節 地名の由来	711

## 第8編 人 物

年表・付表	731
-------	-----

編集後記

三崎町誌編集委員 門田寅太郎  
副委員長

三崎町誌の編集に携わった人々